

高円宮妃殿下が武雄にお成りになりました



高円宮妃殿下が8月4日(日)から5日(月)まで「高円宮賜牌第46回全国高等学校アーチェリー選手権大会」御臨席及び地方事情御視察のために武雄市へお成りになりました。1日目は御船山観光ホテルで御昼食を取られた後、アーチェリー競技(個人男女優勝決定戦)を御覧になり、その後佐賀県立九州陶磁文化館を御視察されました。2日目には武雄市図書館・文化資料館と特別養護老人ホーム御船荘を御視察され、その後前日に引き続き白岩競技場でアーチェリー競技(団体男女優勝決定戦)を御覧になられました。武雄市図書館・歴史資料館の御視察で妃殿下は、樋渡市長の説明に耳を傾けながら、館内を御覧になり、「驚きました。居心地の良い空間ですね。滞在時間が長そうですね。こういう図書館でしたら、みなさんが時間を気にせずお越しになりますね」と述べられました。またその後の御船荘では工作などをする利用者の方とゆっくりお話しされていました。

『温泉のある田舎』ランキングで武雄市が総合1位

移住者レポートなどいなか暮らしに役に立つ情報を発信する雑誌「いなか暮らしの本」(宝島社)9月号において『日本全国温泉のある田舎ランキング』で、武雄市が総合1位を獲得しました。(総合1位は3自治体)これは同編集部が温泉があり住みやすい自治体61市町村を選び、移住に必要なポイント8ジャンル80項目についてアンケート調査を行い、自治体ごとに数値化したランキングです。

市がすすめる定住特区や移住相談員の設置などの移住促進に対する取り組みの他に、交通の便の良さや医療福祉制度の充実が評価され、また市自体が全国的に注目されていることもあり、今回のランキングで1位となりました。武雄市には市内の空き家と移住希望者をつなぐ空き家バンク登録制度があります。これは平成19年にNPOと市の協働事業として始まった制度で、若木町を中心にこれまで10件ほどの紹介実績があります。現在はおおよそ40世帯の移住希望に対して登録物件が1件のみとなっております。

担当課では今後も引き続き、区長会などでの呼びかけや空き家情報の収

集などを行い空き家バンクの登録数を増やしたいとしています。「移住希望者は地域参加への意欲が高い方が多く、人口減対策および地域活力アップへ直接つながります。1位獲得で武雄市への移住を希望される方が増える事が予想されます。今回の事で市内の空き家バンクの登録数が増えれば」とのことです。

市民協働課 ☎0954-23-9122

佐賀県武雄市

第1位

合計63点

市民協働課 ☎0954-23-9122